

平成25年度(平成26年産)麦類作況試験生育ステージ(速報)

作物名	品種	茎立期 (主稈長2cm)		減数分裂期 (幼穂長3cm)			出穂期 (出穂40～50%)			予想される 成熟期 (月/日)
		本年 (月/日)	平年 (月/日)	予測値 (月/日)	本年 (月/日)	平年 (月/日)	予測値 (月/日)	本年 (月/日)	平年 (月/日)	
六条大麦	シュンライ	4/15	4/2	4/28	4/26	4/24	5/5	5/3	5/1	6/12～17
	ミノムギ	4/17	4/5	5/1	4/27	4/26	5/9	5/5	5/5	6/14～19
小麦	あおばの恋	4/19	3/29	5/5	5/1	—	5/14	5/10	—	6/24～6/29
	シラネコムギ	4/20	4/11	5/6	5/1	5/1	5/14	5/10	5/12	6/24～6/29
	ゆきちから	4/23	4/15	5/7	5/2	5/1	5/16	5/11	5/13	6/25～6/30

注1)平年値は過去5か年の平均値。あおばの恋は平成22年度から供試のため平年値はない。

2)設定播種期は10月20日だが、平成26年産では悪天候のため、播種日は10月28日となった。

3)「予想される成熟期」は登熟期間を大麦:出穂後40～45日,小麦:出穂後45～50日として算出。

4)出穂期予測値:4月10日時点での主茎幼穂長から予測した出穂期(普及に移す技術第84,85号,88号,普及成果情報-東北農業・作物(畑作物栽培))。

5)減数分裂期予測値:4月10日時点での主茎幼穂長から予測した減数分裂期(普及に移す技術第86号)。あおばの恋は暫定的に設定した値を用いて予測。

〔作況試験生育概況〕

播種時期に降雨が続いたため、播種が遅れた。また、播種時の土壌水分が高く、砕土率が上がりにくい条件であった。これらのことから、出芽日数は平年より4日長くなったが、あおばの恋を除いて出芽は良好であった。

播種が遅れたこと及び12月中旬～3月中旬まで低温傾向で経過したことにより、大麦、小麦ともに生育量は平年に比べて少ない傾向である。また、4月10日時点での生育ステージも平年より遅れていた。しかし、3月下旬以降は概ね好天が続き、高温傾向となる期間も多かったことから、生育ステージは遅れを取り戻しつつある。

平年と比較して、減数分裂期は大麦で+1～2日、小麦で±0～+1日程度、出穂期は大麦で±0～+2日、小麦で-2日程度となった。予想される成熟期は大麦では平年並、小麦では平年並～やや早い見込みである。